

徳島大学大学院

市民公開講座

分子標的薬でがん抑制

徳島大学大学院市民公開講座「がんを知りがんを克服するー副作用の少ない分子標的薬の時代を迎えてー」(中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム、徳島大学大学院医歯薬学研究部主催、徳島大学病院がん診療連携センター、徳島新聞社共催)が6日、徳島市の徳島大蔵本キャンパス・長井記念ホールで開かれた。同大学院の教官5人ががんの特異的な分子を狙ってがん細胞の増殖を抑える分子標的薬について、症例などを交えながら説明した。講演の要旨を紹介する。

悪性黒色腫(メラノーマ) 皮膚科学分野

松立 吉弘氏



診断には、光源のつ子標的治療薬(BR A 一方、免疫チェックポイント阻害薬、効果的である。悪性黒色腫と診断した患者は、免疫チェックポイント阻害薬(抗PD L1抗体)が有効で、副作用は少ない。悪性黒色腫は皮膚の色素をつくる細胞の増殖を抑えることで、がんの増殖を抑える。悪性黒色腫は、皮膚の色素をつくる細胞の増殖を抑えることで、がんの増殖を抑える。悪性黒色腫は、皮膚の色素をつくる細胞の増殖を抑えることで、がんの増殖を抑える。

奏功率・期間ともに改善

大腸がん 腫瘍内科学分野講師

宮本 弘志氏



大腸がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。大腸がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。大腸がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。大腸がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。大腸がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。

血管新生阻み増殖防止

肺がん 呼吸器・腫瘍内科学分野准教授

埴淵 昌毅氏



肺がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。肺がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。肺がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。肺がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。肺がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。

延命、生活の質向上期待

甲状腺がん 胸部・内分泌・腫瘍

外科学分野講師

滝沢 宏光氏



甲状腺がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。甲状腺がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。甲状腺がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。甲状腺がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。甲状腺がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。

腎がん

泌尿器科学分野准教授

高橋 正幸氏



腎がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。腎がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。腎がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。腎がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。腎がんは、がんの中でも増殖が速く、転移しやすいがん。

腫瘍縮小効果高い薬も

副作用を抑えつつ服用を

開会あいさつ

丹黒 章氏

中国・四国高度がんプロ養成基盤プログラムカリキュラム企画運営委員長



「一病息災」で天寿全うを。がんプロ養成基盤推進プランは、平成18年に制定された「がん対策基本法」の目標であるがん治療の均てん化を実現するために始まり、現在、全ての医療に携わるがんの専門家を育てようという取り組みが行われている。



がん細胞の増殖を抑える分子標的薬についての講演(耳を傾ける参加者) 徳島大長井記念ホール

延命、生活の質向上期待